ver.1.002　2026.7

INSTRUCTION MANUAL

TripTopユーザーマニュアル

TripTop®

■ はじめに

本書は、車両のルーフに装着するポップアップルーフテント「TripTop」の使い方を説明する取扱説明書です。カムバックルベルトやスナップボタンの取り外しからルーフの展開、専用天板・マットの設置、収納・格納までの一連の操作手順をまとめています。ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しい手順で安全にお使いください。

■ 安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

⚠ 警告

左右のヒンジ可動部には絶対に手を入れないでください。切断など重大な事故につながる危険性があります。

⚠ 警告

走行前には、ルーフが完全に閉じていること、カムバックルベルト3本が確実に固定されていること、テント生地のはみ出しがないことを必ず確認してください。

⚠ 警告

ルーフが完全に閉まっていない状態で走行・保管しないでください。生地の破損・雨漏れ・風切り音の原因となる場合があります。ルーフ全周を必ず確認し、手を挟まないよう注意しながら生地を確実に収納してください。

⚠ 警告

強風時、豪雨時、積雪時など、天候が悪化する恐れがある場合は使用を中止し、ルーフを格納してください。

⚠ 注意

ルーフキャリアやTripTop上に荷物を積載している場合は、必ず荷物を降ろしてからルーフを展開してください。

⚠ 注意

カムバックルベルトおよびフロント左右のスナップボタンを外さずにルーフを跳ね上げないでください。ボタン破損の原因となります。

⚠ 注意

専用天板およびマットは中央へ寄せて収納してください。適切な位置に収納されていない場合、ルーフが確実に閉まらない恐れがあります。

⚠ 注意

新品のテントは生地が固く、馴染むまで挟まりやすくなっています。生地が挟まった場合は、外側からしっかりとテント内へ押し込んで収納してください。

■ 使い方

1 カムバックルベルトの取り外し

TripTop付属のカムバックルベルト（3本）を車内側から外します。

2 カムバックルベルトの取り外し（中央）

中央のステンレスループに掛かったカムバックルベルトを引いて外します。

3 カムバックルベルトの取り外し（左右）

続いて、左右両側のカムバックルベルトも同様にループから外します。

4 ベルト3本の取り外し確認

3本のカムバックルベルトがすべて外れていることを確認します。

5 フロント左右のスナップボタンの取り外し

テント生地をまとめているフロント左右のベルトのスナップボタンを、左右ともに外します。

> ※ 外さずにルーフを跳ね上げるとボタンの破損の原因になります。

6 ルーフの押し上げ

TripTopのルーフを手で平行に押し上げます。

> ※ TripTopのルーフ外側、またはルーフキャリアに積載物がある場合は必ず降ろしてからルーフを上げてください。製品の破損や荷物の脱落によるけがや事故の原因となるおそれがあります。

7 ガスダンパーによる自動展開

ルーフを1/3程度押し上げると、ダンパーの反力により自動的にルーフテントが持ち上がります。

8 ファスナーの開閉

内側テント生地、外側メッシュ生地の順に、ファスナーを開けることができます。

> ※ 開閉の際は、生地を噛みこまないように気を付けて開閉を行ってください。無理に開閉をすると、ファスナーの破損の原因となります。

9 生地の巻き上げ固定

テント生地とメッシュ生地を同時に、またはテント生地のみを巻き上げ、上部の固定ベルトで留めることができます。

10 テント生地の開閉パターン

TripTopのテント生地は、使用シーンに合わせて3通りの開閉が可能です。

① フルクローズ
テント生地をすべて閉じた状態です。就寝時や外からの視線を遮りたいときに適しています。

② メッシュ生地
内側のテント生地を巻き上げ、メッシュ生地のみを展開した状態です。虫の侵入を防ぎながら、風通しを確保できます。

③ フルオープン
テント生地とメッシュ生地の両方を開けた状態です。開放感があり、景色や風を楽しみたいときにおすすめです。

フルクローズ

メッシュ生地

フルオープン

11 天板・マットの構成

TripTopには専用天板と6分割マットが付属しています。構成内容：マット（大）2枚、マット（小）4枚、天板2枚

12 天板の設置

天板を開口部（テント出入口）へ設置します。取っ手が車両の左右（サイド側）に向くように配置してください。※ 実際の設置作業は、テント内で行います。

13 小マットの設置（並べ方）

小マットを縦方向に向きをそろえて順に並べます。

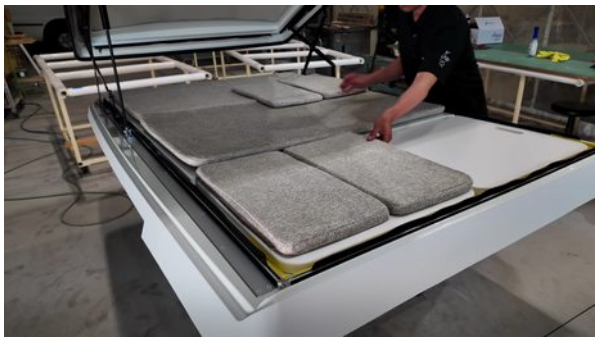
14 小マット4枚の敷設完了

小マット4枚を縦方向に並べ終えた状態です。

■ 収納方法

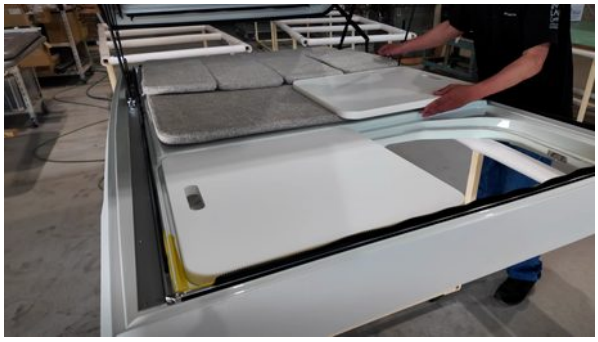
1 マット（小）の収納方法

収納時はマット（小）をマット（大）の後方に並べて配置します。



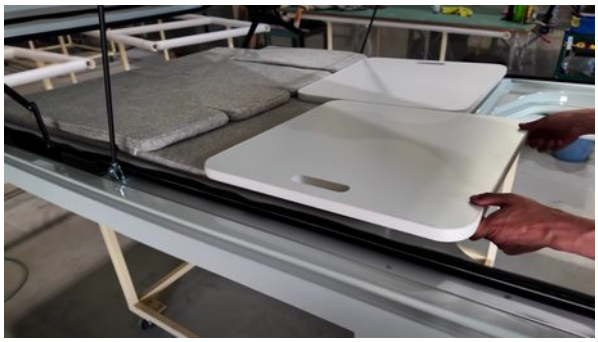
2 天板の収納方法

天板をマット（小）の手前側に並べます。取っ手がサイド側を向くように配置してください。



3 天板2枚の配置完了

2枚目の天板も同様に配置します。



4 マット・天板の中央寄せ

マットおよび天板は中央へ寄せて収納してください。

※ 適切な位置に収納されていない場合、ルーフが確実に閉まらない恐れがあります。

5 マット小と天板位置の確認

マット（小）と天板が左右にはみ出していないかを確認します。

※ 写真は説明のため、テント生地を外して撮影しています。

6 ヒンジ周辺の確認

マットや天板が開閉ヒンジの可動部に干渉していないかを確認します。

> ※ 写真は説明のため、テント生地を外して撮影しています。

7 ルーフ内側ハンドルの引き下げ

ルーフ内側のハンドルを左右均等に引き下げます。

8 生地を引き込みながら閉じる

ルーフを閉じる途中で、テント生地を車内側へ引き込みながら閉じてください。

9 生地の挟み込み対処

テント生地が外側に残らないよう車内側へ引き込みます。テント生地が挟まった場合は、外側からしっかりとテント内へ押し込んで収納してください。

> ※ 新品のテントは生地が固いので、馴染むまで挟まりやすくなっています。

10 ルーフ全周の確認

ルーフ全周を必ず確認し、手を挟まないように注意しながら生地を確実に収納してください。

> ※ ルーフが完全に閉まっていない状態では、生地の破損・雨漏れ・風切り音の原因となる場合があります。

⚠ 注意

左右のヒンジ可動部は危険ですので、絶対に手を入れないように注意をしてください。切断など重大な事故に繋がる危険性があります。

11 ルーフの固定とテント生地の収納方法

テント生地を巻き上げ、付属のカムバックルベルト（中央）を使用して仮固定します。

12 カムバックルの操作

カムバックルのレバーを押しながらベルトを通します。

13 ベルトのテンション掛け

バックル本体（支点）をできるだけ上側へ移動させてからベルトを引くと、スムーズにテンションを掛けることができます。

14 ベルト固定の確認

上下のステンレスループにベルトがねじれなく通り、しっかりとテンションがかかっていることを、中央・左右すべてのベルトで確認してください。

> ※ カムバックルベルトのテンションが緩いと、風切り音や雨漏れの原因となります。

15 余り生地のスナップ固定

最後に余ったテント生地をきれいに巻き上げ、スナップボタンでまとめて固定します。

TripTop®

お問い合わせ

RVランド・コンセプト

〒270-0164 千葉県流山市流山8丁目1060-1

https://triptop.earth/